情報公開文書
2026 年 10 月 27 日作成

1. 研究の名称
PI-QUAL v2 を使用した、深層学習再構成技術が前立腺 biparametric MRI の画質に及ぼす影響の評価

2. 倫理審査と許可
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、
研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
主な研究機関：京都大学大学院医学研究科
研究責任者：放射線医学講座（画像診断学・核医学） 教授 中本裕士

4. 研究の目的・意義
本研究の目的は、前立腺 MRI において、深層学習再構成(deep learning reconstruction: DLR)を用いた MRI 画像、特に T2 強調像(T2WI)と拡散強調像(DWI)の画質向上の程度を定量化することです。前立腺 MRI の品質を評価する方法として Prostate Imaging Quality(PI-QUAL) v2 を用い、T2WI と DWI のスコアから最終スコアを算出します。T2WI および DWI の双方に DLR が適用された群と、両方ともに適用されていない群の最終スコアや、各構成項目の充足率を比較します。本研究により、DLR が前立腺 MRI のどの画質要素を改善するか、あるいはどの画質要素は改善することが難しいのかを定量的に示すことで、前立腺 MRI の画質向上に貢献し、さらには診断精度向上に寄与することが期待されます。

5. 研究実施期間
研究機関の長の実施許可日から 2027 年 12 月 31 日まで。

6. 対象となる試料・情報の取得期間
研究対象者は、2024 年 5 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日の間に京都大学医学部附属病院 泌尿器科で前立腺 MRI を臨床的必要性から撮像された患者さんです。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法
前立腺 MRI（個人を特定できる情報を削除(ID 化)して使用します）の画質評価を PI-QUAL v2 に則って後方視的に行い、T2WI および DWI の双方に DLR が適用された群と、両方ともに適用されていない群のスコアの差を検証します。

7. 利用または提供する試料・情報の項目
性別、年齢、MRI 施行日、PSA(Prostate Specific Antigen)値、PSA 測定日、病理診断・病理診断日（生検や手術がされていれば）

9. 利用または提供を開始する予定日
研究機関の長の実施許可日以降

10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
自機関のみの研究であり共同研究機関はありません。

11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）教授 中本裕士

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
下記の 15 の連絡先にご連絡をしていただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。解析後や公開後の場合は削除できません。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の患者さんの個人データを取得することはできませんが、研究や個人情報保護に支障がない範囲で、本研究に関する研究の資料の入手・閲覧ができますので、下記の 15 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができないことがあります。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

研究資金の種類:大学運営費交付金
提供者: 京都大学

2) 提供者と研究者との関係

本研究は、特定の企業からの資金提供を受けていません。

3) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者等からの相談への対応

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 放射線部
助教 樋本　祐紀
(Tel) 075-751-3760
(E-mail) yhimoto@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748
(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp